

公立大学法人青森公立大学
令和2年度業務実績評価及び第2期中期目標期間業務実績評価における
改善事項等の対応状況について

1 全体評価（組織、業務運営等に係る改善事項等）

- ①大学院課程志願者の確保に向け、PR方法の見直しや、履修証明プログラムの検証を含め、教育内容の充実に向けた検討を求める。
- ②教職員を対象とした人事評価を本格実施し、評価結果を活用した人材育成と組織の活性化を図ることを求める。
- ③研究関連収入や寄附金など、外部資金の確保に向けた取組を求める。

2 項目別評価への対応状況

(1) 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（教育）

	令和2年度 改善事項等	大学院課程については、入学定員6名に対し入学者2名となっており、志願者の確保に向け、PR方法の見直しや、履修証明プログラムの検証を含め、教育内容の充実に向けた検討を求める。
	第2期 改善事項等	大学院については、令和元年度を除き、入学者数が入学定員を満たしておらず、志願者の確保に向け、PR方法の見直しや、履修証明プログラムの検証を含め、教育内容の充実に向けた検討を求める。
①	第3期 令和3年度 の計画状況	<p>第3期中期計画では、入学定員と同数程度の志願者を常に確保することを目標に、学部からの進学促進、行政機関や民間企業等への働き掛けの充実、入学者選抜説明会の効果的な実施、入試に係る相談体制の充実、社会的ニーズに見合った教育の実施体制及び履修証明プログラム等の内容の検証・必要に応じた改善を掲げた。</p> <p>令和3年度計画では、入学定員と同数程度の志願者の確保を目標に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャリアセンターにおける進学希望者の情報収集 ○大学院進学促進ポスターの学内掲示、成績優秀者に対する大学院進学の情報提供を行うなどの学内広報 ○社会人入学生の確保のため、行政機関や民間企業への効果的な訪問 ○遠方からの入学志願者やコロナ禍における対応として、オンライン等での進学相談 ○本学の大学院生にヒアリングし、大学院教育の実施体制及び履修証明プログラム等の検証を実施することとしている。
	令和3年度 の実施結果	(令和4年6月報告)

(2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

②	令和2年度 改善事項等	今後、教職員を対象とした人事評価を本格実施し、評価結果を活用した人材育成と組織の活性化を図ることを求める。
	第2期 改善事項等	今後、本格実施し、評価結果を活用した人材育成と組織の活性化を図ることを求める
	第3期 令和3年度の 計画状況	第3期中期計画では、教員を対象とした人事評価を実施し、給与・昇任等への反映を掲げた。 令和3年度計画では、 ○教員職員を対象とする人事評価の試行を実施するとともに、教員職員からの意見等を踏まえ、本格導入のための検証を実施することとしている。
	令和3年度 の実施結果	(令和4年6月報告)

(3) 経営・財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

③	令和2年度 改善事項等	収入の多様性を確保し、教育研究を安定的に実施するとともに、民間企業、団体との協働を推進するため、研究関連収入や寄附金など、外部資金の確保に向けた取組を求める。
	第2期 改善事項等	収入の多様性を確保し、教育研究を安定的に実施するとともに、民間企業、団体との協働を推進するため、研究関連収入や寄附金など、外部資金の確保に向けた取組を求める。
	第3期 令和3年度の 計画状況	第3期中期計画では、外部研究費の獲得増に向けた過去2年間（令和元年度～令和2年度）の平均以上（11件）の申請、各種寄附金等の獲得増の取組、施設・設備の貸出しによる収入増のためのPR、国際芸術センター青森の自己収入の獲得を掲げた。 令和3年度計画では、 ○外部研究費の11件以上の申請、支援方策の検討 ○企業や同窓会等に対する寄附の働き掛け ○施設・設備の貸出しによる収入増に向けたPRや情報提供 ○国際芸術センター青森の事業協力金（寄附金）のPR等を実施することとしている。
	令和3年度 の実施結果	(令和4年6月報告)